

「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」で小学生1000人にアンケート 将来は「グローバルに働きたい！」小学生が6割 必須と考える英語は「好き」だけど「苦手」

11月23日の勤労感謝の日を前にグローバルに働くことに関する対面意識調査

こども向け職業・社会体験施設「キッズニア」を企画・運営する KCJ GROUP 株式会社(本店:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:住谷 栄之資)は、11月23日の勤労感謝の日を前に、「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」に来場した小学生 1,004 人を対象に、対面でグローバルに働くことに関する意識調査を実施しました。

その結果グローバルに働きたい(色々な国の人と仕事をしたい)小学生は6割強、そのために一番必要なことは「英語が話せること」という結果になりました。しかし英語は「好き」だけど「苦手」という回答も多く、海外への興味はありつつも絶対必要と考える英語に対しては苦手意識が強く、グローバルに働くことに二の足を踏んでいる実態が浮かび上がりました。

また、海外で活躍している日本人はスポーツ選手をイメージする小学生が多い結果となりました。

■将来「色々な国の人と一緒に仕事をしたい」65.1%

海外との垣根は低い? 必要なのは「英語」

■英語が「好き」59.3%、「苦手」も59.0%

日本人の奥ゆかしさが「好きだけど自信がない」。苦手意識をどう克服するかが重要!?

■海外で活躍している日本人イメージ、1位は「錦織圭」31.4%

2位は「本田圭介」27.3%。ラグビー日本代表「五郎丸歩」も5.7%で6位に ※敬称略

「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」では、英語をコミュニケーションツールとして考え、体験の中で自然と英語に触れる機会を創出し、英語を話したり、理解できた喜びや楽しさを感じられるプログラムを展開しています。※3頁参照

【調査概要】

- 実査期間: 2015年10月6日~8日 キッズニア東京、2015年10月13日~16日 キッズニア甲子園
- 調査手法: 対面によるアンケート調査
- 調査対象: 「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」ご来場の小学生 合計 1004名

内訳)	男子		女子		合計
	低学年	高学年	低学年	高学年	
キッズニア東京	110	146	121	125	502
キッズニア甲子園	101	118	150	133	502
合計	211	264	271	258	1004

- 調査項目: ・将来、日本人だけでなく、色々な国の人たちと一緒に、お仕事をしたいですか?
- ・「海外に出て、頑張っている、活躍している日本人」で、思い浮かべる人は誰ですか?
- ・英語は好きですか? 嫌いですか? ・英語は得意ですか? 苦手ですか?

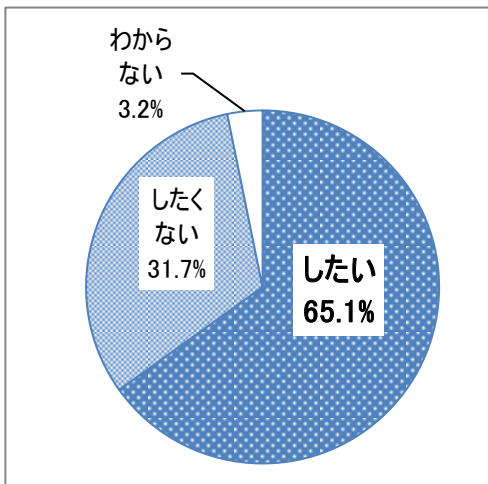
※本リリースの調査結果をご利用いただく際は、必ず【キッズニア調べ】とご明記ください。

■小学生はオープンマインド！？将来「色々な国の人と仕事をしたい」

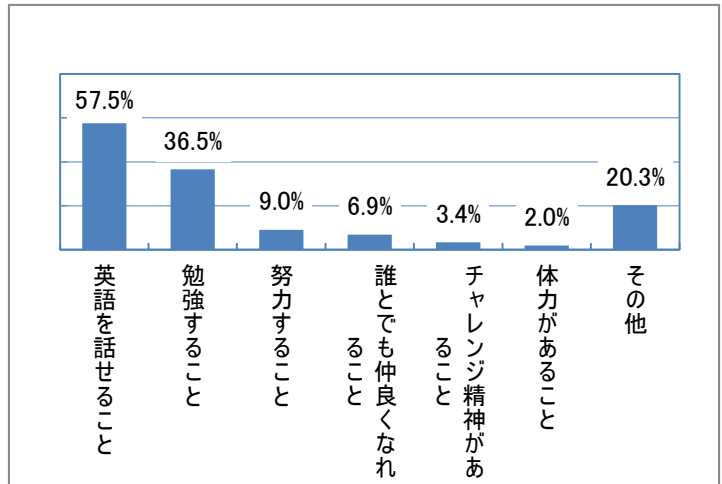
日本で外国の人と一緒に働く、海外で外国の人と一緒に働く、など、日本人以外の人と働いてみたいかの質問に対し、65.1%の小学生が「働いてみたい」と回答し、海外勤務を嫌がる新入社員が多いなど日本の若者の内向き志向が取りざたされる中、小学生は“国際派”の意識が高い結果となりました。

また、そのために必要なことは何ですか？と質問したところ、一番多かった回答は「英語を話せること」(57.5%)であり、英語を話せるようになることが、グローバル社会への第一関門と捉えているようです。

【Q. 将来、色々な国の人たちと一緒に仕事をしたいですか？】



【Q.色々な国の人と仕事をするために、何が必要だと思いますか？】



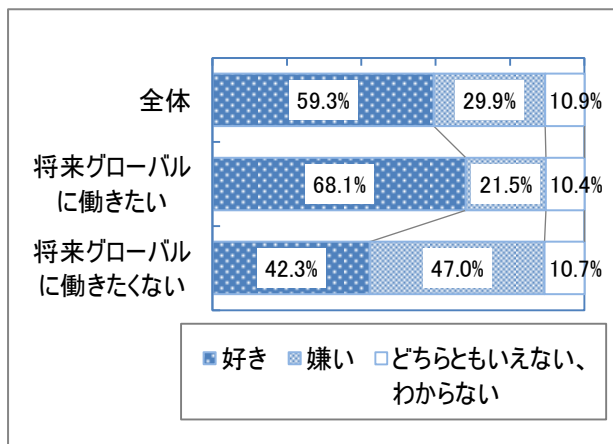
■英語は「好き」だけど「苦手」が多数派。

グローバル人財育成には英語への苦手意識をなくしていくことが課題！

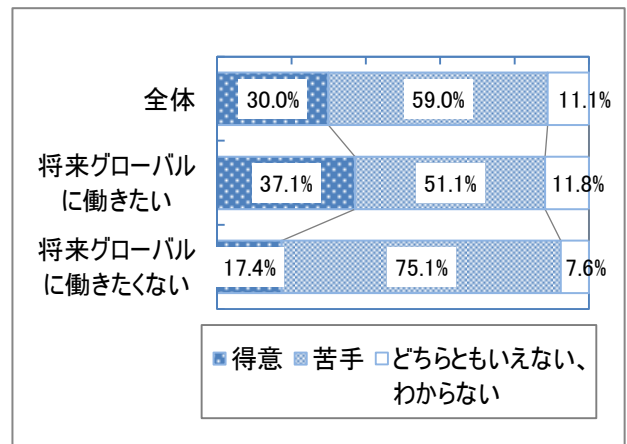
グローバル社会で必須と考えている英語に対しては「好き」と「苦手」が59%で同率の結果となっています。

また、将来グローバルに働きたい人ほど英語が好きで、英語が得意である傾向があり、英語への苦手意識をどう無くしていくかがグローバル人財育成への課題と考えられます。

【Q. 英語は好きですか？】



【Q. 英語は得意ですか？】



■英語に対する「キッズニア」の取り組み

「キッズニア」はオープン当初から、子ども達に世界で活躍できる人になってほしいという思いを持っており、英語でのコミュニケーションに力を入れています。開業翌年の2007年には通常のプログラムの中に英語のフレーズを取り入れる「E@K」をスタートさせ、「コミュニケーションツール」として、子ども達が英語に触れる機会を提供しています。現在では子どもの成長に合わせ、初歩的な英語から、さらに進んだ英語によるコミュニケーションも体験できる5種類のプログラムを行っています。

《通常プログラム》

英語に自然な形で触れる機会を増やし、慣れる、親しむことを目指した、キッズニアの通常運営の中に取り入れている英語プログラム。

■E@K (イーアットケイ/English @KidZania)

日常の挨拶や自己紹介、職業体験の中で使う言葉や動きを簡単な英語で話します。使った英語はすぐに覚えられるので、英語への親しみがわきやすく、子ども達の自信につながります。

■E@K Activity (イーアットケイ アクティビティ)

職業体験の全行程を英語で行います。職業体験の流れやポイントは事前に日本語で説明するので、英語に自信がなくても、スムーズに体験することができます。

■English Wednesday (イングリッシュ ウェンズデー)

毎週水曜日に実施しているプログラム。半数以上の職業体験がE@K Activityで行われます。

《専用プログラム》

英語で通じあう楽しさを手軽に体験し、コミュニケーション力を高めることを目指したプログラム。

■EAP (イーエーピー/English Activity Program)

英語が堪能な「ナビゲーター」が1グループに一人同行し、およそ3時間で5つのE@K Activityを連続して楽しめる有料プログラムです。

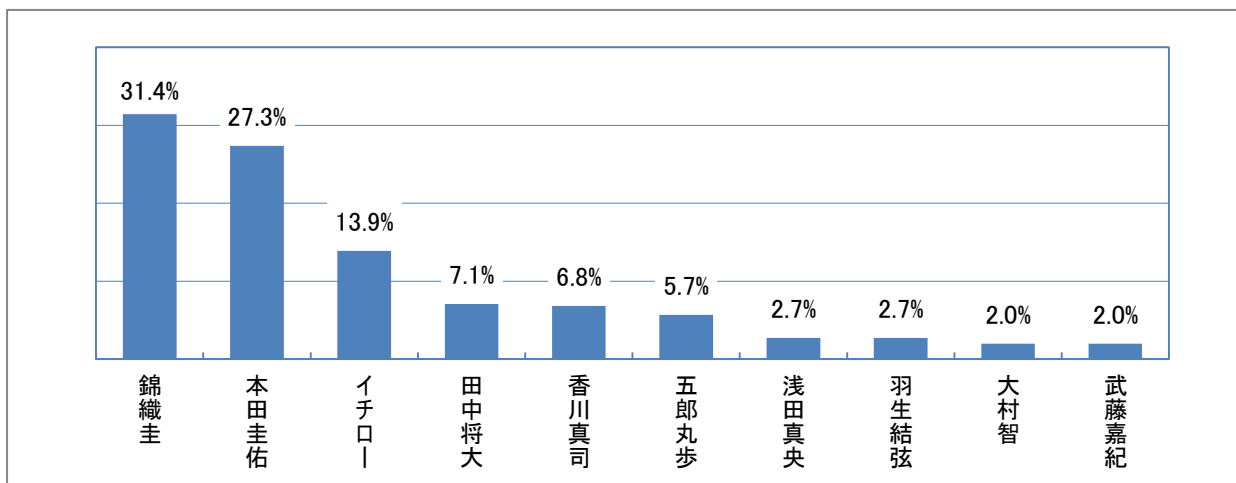
■EAP eKspress! (イーエーピー エクスプレス)

E@K Activityを3つ連続して体験できるEAPの入門コース。未就学児や英語学習の経験がない方でも参加しやすい90分間の有料プログラムです。

参考資料

■海外で活躍している日本人はスポーツ選手の印象強し！ニュースやCMで身近な存在？

海外で活躍している日本人をイメージできた小学生の回答で、上位を占めたのはスポーツ選手でした。ニュースやCMで良く見かける選手の印象が強いようです。そのほかノーベル医学・生理学賞受賞者の大村智氏、タレントのきゃりーぱみゅぱみゅさん、身近な存在である父親などの名前が上がりました。



※敬称略